

1. 調査報告概要表

作成日平成20年8月22日

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入) 3 4 7 0 1 0 5 1 8 4
法人名	社会福祉法人 広島光明学園
事業所名	グループホーム 光明早稲田
所在地	広島市東区牛田早稲田二丁目4番15号 (電 話) 082 - 222 - 1005
評価機関名	特定非営利活動法人 医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4 - 46 - 9
訪問調査日	平成20年8月20日

【情報提供票より】(20年 7月 31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 18 年 2 月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	17 人 常勤 16 人, 非常勤 1人, 常勤換算 12人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	3 階建ての 1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	56,000 円		その他の経費(月額)	10,000 円	
敷 金	有(円)		無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(150,000 円) 無		有りの場合 償却の有無	有 ☐ 無 ☒	
食材料費	朝食	円	昼食	円	
	夕食	円	おやつ	円	
	または1日当たり		1,500 円		

(4) 利用者の概要(7月 31日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	3 名	要介護2	7 名		
要介護3	4 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86 歳	最低 75 歳	最高 93 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	新田内科医院
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム光明早稲田は、閑静な住宅街に位置し、地元との繋がりも良い関係を構築されている。又、地域の高齢者福祉の領域において、広島市と連携し活発な活動を展開されている。それに加え、同一グループにおいて園児との交流も盛んで、大きな一つの家族形態の姿でもある。地元の信頼も厚く、管理者を中心に明るく笑顔のあるホームです。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前は、移転してきたこともあり、地域の方々がホームに立ち寄られる回数が少ないという事だったが、地域行事参加等により、地域密着型になっている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	入居者一人ひとりの家のイメージを大切にその人の家だと思って見守ることに取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	2ヶ月に1回、開催されており、町内会長、民生委員、家族、園長、包括支援センター職員が参加され、現状報告をしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	ご意見箱を設置したり、面会時に話を伺い、内容についてはすぐに検討し、運営に反映していく様に心掛けている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	散歩や行事参加することにより、地域の方により理解して頂ける様に努力している。又、地域のゴミ置き場の清掃等も一緒に取り組んでいる。

2. 調査報告書

(☐ 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念とは別に事業所としての理念を掲げ地域との交流を心掛けている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々、申し送り時に皆で理念を唱和し、実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域で行なわれているいきいきルーム等に参加して交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	毎月スタッフミーティングがあり話し合いを行なっている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、開催しており、会議の中で地域の方の意見や要望を聞いて、対処している。		

グループホーム光明早稲田

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護保険課や健康長寿課へ相談や連絡をしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の方に毎月、定期的に近況報告をしている。その際、行事の時の個人写真も送付している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見や思いを、心あるサービスが出来るように取り組んでいる。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は極力抑えて入居者の不穏にならない様に努力している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月2回、施設内研修を行ない、全員が研修を受ける体制がある。又、外部研修にも参加している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一グループのグループホームの管理者と交流を計り、意見交換をしている。	○	他のグループホームとの交流を通してネットワーク創りや勉強会、相互訪問等の活動をすることにより、サービスの質を向上させていく取り組みに期待します。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	いきなりサービスの利用を開始する訳ではなく、利用開始前に職員と馴染みの関係づくりがある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	男性職員に料理の仕方、包丁の持ち方を教えてもらったり、励ましてもらう場面もある。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者一人ひとりの思いや暮らし方を会話や行動から汲み取り把握している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月1回カンファレンスを行ない、本人や家族の要望を聞きながらケアマネ、看護師、職員で介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	設定した期間での見直しや利用者の変化に応じて見直している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	隣接の事業所で行なわれる月1回の温泉まつりに参加したり、外出外泊の支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医に日頃の状態を伝えることで、適切な医療を受けられる様に支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期において急変時には、即対応できる様に皆で共有している。	○	本人や家族が望まれるのであれば、ホームにおいても苦痛を軽減するための医療が受けられる様になる事を期待しています。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	自尊心やプライバシーを損ねるような言葉かけをしない様に配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしい日常生活が送れる様に支援している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りの中で出来る作業や配膳を一緒にしたり、食事介助の必要な方にはそっと寄り添い楽しく話しをしながら雰囲気作りに工夫がある。		
23	57	○ 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には週2回の入浴としているが、本人の希望で毎日入浴されている方もいる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	いろいろな企画された行事に参加したり、ドライブや野菜作りを楽しみながら、張りのある生活をしている。		
25	61	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	気候の良い日は、散歩をしながら外気に当たり、外の音を聞いて気持ちよく過ごせる様に支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○ 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関には鍵がかかっており、外部からの訪問はインターホンで対応している。	○	2階、3階にモニターがあり、見守りながら日中は鍵をかけないで済む工夫が望まれる。
27	71	○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	調理もレンジ調理器にして、火元にならない工夫もあり、又年2回、避難訓練を実施している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日に必要な食事量や水分が取れるように支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	安全面や清潔には心掛け、入居者の方に気持ちよく過ごしてもらえる様に、家具の配置等を工夫している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は本人が使い慣れたものや写真が置かれていて、居心地のいい空間になっている。		